
RADEON™ 8500/ RADEON™ 7500 ユーザーズ ガイド

Version 1.0

P/N 137-40291-10

製品情報

MACROVISION 製品についての情報

- A. 装置クレームのアメリカ合衆国特許番 4,631,603、4,577,216、4,819,098、および 4,907,093 は、限定された視聴ユーザーにのみ許諾されています。
- B. 製品に伴う付随的な印刷物において、次に示す注意事項を適切な箇所に明記する必要があります。

この製品には Macrovision Corporation およびその他の権利所有者が所有するアメリカ合衆国特許とその他の知的所有権により保護されているコピープロテクションテクノロジーが利用されています。このコピープロテクションテクノロジーの利用は、Macrovision が書面により認証した場合を除き、必ず Macrovision に認証されていなければならない、家庭およびその他の限定された条件でのみ利用できます。リバースエンジニアリングおよび分解は禁止されています。

Copyright 2001 by ATI Technologies Inc.:

ATI および RADEON 8500/RADEON 7500 は ATI Technologies Inc. の登録商標です。

Windows 98SE、;Windows 98SE、Windows Millennium Edition、Windows NT4.0、

Windows 2000 は Microsoft Corp. の登録商標です。

VGA は International Business Machines Corp. の登録商標です。

ドキュメンテーションの更新

ATI は、常に製品と関連するドキュメンテーションの向上を行っております。ATI 製品の価値を最大限に引き伸ばすには、最新のドキュメンテーションを得る必要があります。ATI のドキュメンテーションには、役に立つインストール/設定とその他の役に立つ製品の機能情報に関するヒントを含んでいます。製品に関する最新のドキュメンテーションについては、<http://www.ati.com/online/docupdate> を参照してください。

マルチモニタ

RADEON 8500/RADEON 7500 は、1つのビデオカードからデュアルディスプレイ機能と TV Out 機能を提供します。この新しいテクノロジーは PC、TV、ビデオグラフィックスの表示を改善します。

RADEON 8500/RADEON 7500 は HydraVision™ ソフトウェアを使用して、シームレスなマルチディスプレイ デスクトップを実現します。マルチモニタディスプレイは、大きな1つの作業エリアとして機能します。1つのアプリケーションを全モニタに広げたり、複数のアプリケーションを特定のモニタに占有させたりすることができます。この機能は、PC のグラフィックスやビデオ性能を次の水準へ引き上げます。

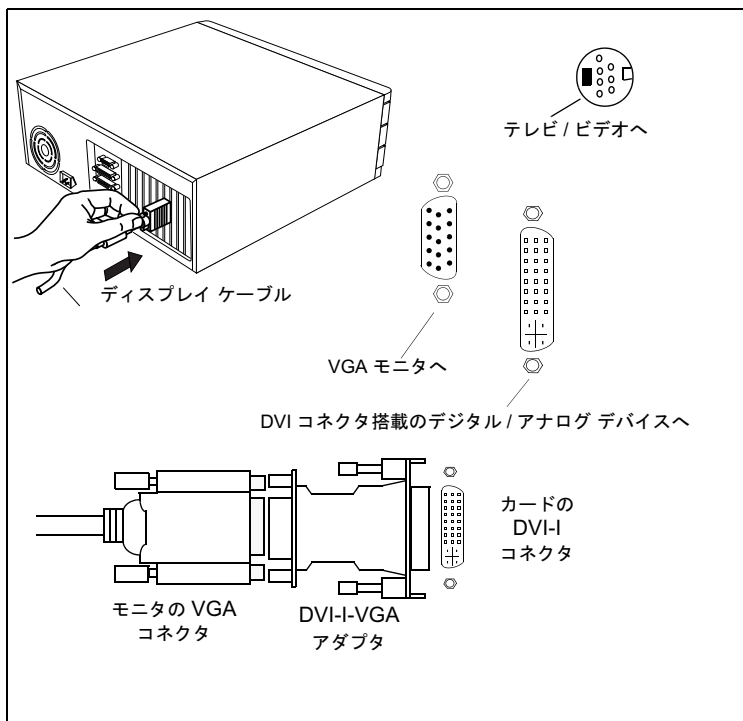
RADEON 8500/RADEON 7500 とモニタの接続

RADEON 8500/RADEON 7500 は付属の DVI-I-VGA アダプタにより、1台の DVI-I モニタ、もしくは2台の VGA モニタをサポートします。また、S-ビデオコネクタを使ってテレビを PC に接続することも可能です。

モニタ ケーブルをカードに取り付けて (マルチモニタを使用している場合は、ケーブルを各コネクタへ取り付けます)、コンピュータとモニタの電源を入れます。

RADEON 8500/RADEON 7500 をフラットパネルに接続するには、次に示すように DVI-I コネクタを使用します。VGA モニタを DVI-I コネクタに接続するには、付属の DVI-I-VGA アダプタを DVI-I コネクタに取り付けてから、モニタ ケーブルをアダプタに接続してください。

RADEON 8500/RADEON 7500 とマルチ モニタを使用する場合、1つのモニタが必ずプライマリとなります。追加されるモニタはセカンダリとして表示されます。



RADEON 8500/RADEON 7500 ディスプレイ設定

ディスプレイ設定	使用コネクタ	コメント
CRT モニタ	- 15- ピン VGA コネクタ - 24- ピン DVI-I コネクタ (DVI-I-VGA アダプタ搭載)	
DFP モニタ	- 24- ピン DVI-I コネクタ	
テレビ	- S- ビデオ コネクタ	
CRT モニタ + テレビ	- 15- ピン VGA コネクタ + S-ビデオ コネクタ	CRT モニタが DVI-I-VGA アダプタを通して DVI-I コネクタに付けられている場合、サポートされない設定です。
DFP モニタ + テレビ	- 24- ピン DVI-I コネクタ + S-ビデオ コネクタ	
CRT モニタ + DFP コネクタ	- 15- ピン VGA コネクタ + 24 ピン DVI-I コネクタ	
CRT モニタ + CRT モニタ	- 15- ピン VGA コネクタ + 24 ピン DVI-I コネクタ (DVI-I-VGA アダプタ搭載)	
CRT モニタ + DFP モニタ + テレビ	- 15- ピン VGA コネクタ + 24 ピン DVI-I コネクタ + S-ビデオ コネクタ	この結果として、2つの独立したディスプレイとその2つのどちらかと同じイメージを表示する3番目のディスプレイが表示されます。
CRT モニタ + CRT モニタ + テレビ	サポートされていない設定	

凡例:

CRT- 標準 15-ピン VGA コネクタを利用可能な(陰極線管) アナログ モニタ

DFP-24-ピン DVI-I コネクタを利用可能なデジタル フラット パネル モニタ

- DVI-I コネクタは、DVI-I-VGA アダプタを経由した 15-ピン VGA コネクタを使用してモニタをサポートすることができます。

- ボードの S-ビデオ コネクタは、S-ビデオ対応コンポジット アダプタを経由したコンポジット コネクタをサポートすることができます。

複数モニタ コントロール

*Windows®2000 の [複数モニタ] ダイアログ*

Windows® NT4.0/Windows®2000 では、ディスプレイ プロパティの [詳細設定] の [ディスプレイ] タブに、[複数モニタ] コントロールがあります。このダイアログは、現在のモニタの配列をグラフィカルに表示します。また、リストボックスの番号をダブルクリックして、モニタを有効/無効に設定することも可能です。

Windows® 98SE/Windows®Me では、ディスプレイ プロパティの [設定] にあります。ここから複数表示を有効/無効にし、色の深みと画面の解像度を変更できます。

セカンダリ ディスプレイ を有効にする方法 (セカンダリ ディスプレイ が RADEON 8500/RADEON 7500 に添付されていると仮定します):

- 1 “2” というラベル が付けられている モニタ を右クリック します。
- 2 ドロップ ダウン メニュー で [有効] をクリック します。
- 3 [OK] をクリック します。



Windows® 98SE/Windows® Me [複数 モニタ] ダイアログ

解像度または色数を変更するには:

- 1 モニタを左クリックし、そのモニタをアクティブにします。
- 2 色数および解像度を変更します。

ディスプレイの位置を変更するには、該当するモニタを希望の位置にクリックアンドドラッグします。たとえば、セカンダリ ディスプレイはプライマリ ディスプレイの左にドラッグすることができます。これによりプライマリ ディスプレイの物理的な左や右に、セカンダリ ディスプレイを移動することができます。

注意

RADEON 8500/RADEON 7500 は、レーシヨメトリック拡張を提供します。レーシヨメトリック拡張 (またはデジタル パネル スケーリングとして知られています) は、高い解像度のパネルを補充するために低い解像度のイメージを拡張します。このレーシヨメトリック拡張はプライマリ ディスプレイでのみ有効です。そのために DFP がセカンダリとして設定されている場合は、拡張されたデスクトップは無効となり、解像度は DFP モニタの元の解像度よりも低くなります。これにより、DFP モニタはセンター モードのデフォルトに変更されません。

Windows® 98SE/Windows® Me/Windows® NT4.0/Windows®2000 動的モニタの配置転換

複数モニタ設定を有効および無効にする場合再起動をする必要が一度もない、という事実に加え、再起動せずにプライマリとセカンダリディスプレイの割り当てを変更することも可能です！

- 1 Windows® デスクトップ上で右クリックし、ドロップダウンメニューから **[プロパティ]** をクリックします。
- 2 **[設定]** タブを選択します。
- 3 **[詳細]** ボタンをクリックします。
- 4 **[ディスプレイ]** タブを選択します。

このウィンドウは、アクティブなディスプレイを表示し、アクティブなディスプレイの隣にあるボタンが青色になります。アクティブな青いボタンの隣には、「**プライマリ**」または「**セカンダリ**」と表示されます。

(デュアルディスプレイ設定の) 青いボタンをクリックすると、プライマリおよびセカンダリ モニタが変更されます。**[適応]** をクリックすると変更箇所を有効にします。

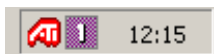


Windows® 98SE および Windows® Me による HydraVision™ の使用

Windows®98SE および Windows®Me は、1つのシステムで複数のモニタを認識します。HydraVision™ ソフトウェアは、Windows®98SE および Windows®Me で使用するよう設計されています。HydraVision™ をインストールすると Desktop Manager が有効になり、HydraVision™ 画面管理ソフトウェアの Windows® プログラム グループが作成されます。

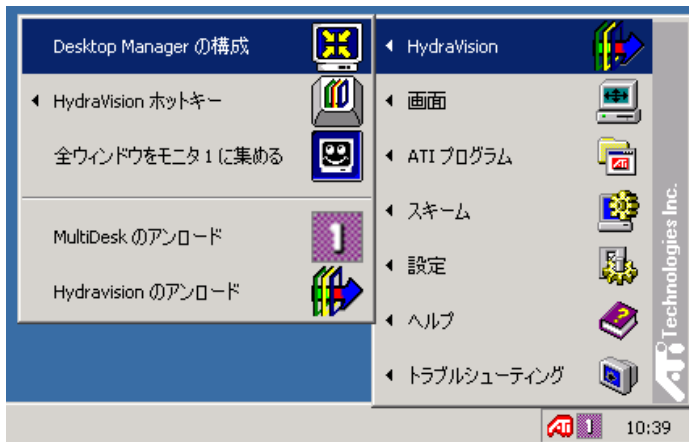
HydraVision™ と Desktop Manager は、Windows® が起動されると有効になります。HydraVision™ のインストールにより ATI アイコンにメニュー オプションが追加されます。

ATI および MultiDesk アイコン



システム トレー アイコン

ATI アイコンをクリックしてアプリケーション機能やヘルプにアクセスしたり、HydraVision™ Desktop Manager をアンロードします。



HydraVision™ Desktop Manager へのアクセス

HydraVision™ Desktop Manager を使って、画面オプションを変更することができます。Desktop Manager の該当するタブをクリックして、[デスクトップ管理] および [ホット キー] ダイアログ ボックスにアクセスします。

各 HydraVision™ ダイアログの下部には次の 4 つのボタンがあります: [OK]、[キャンセル]、[適用]、[ヘルプ]

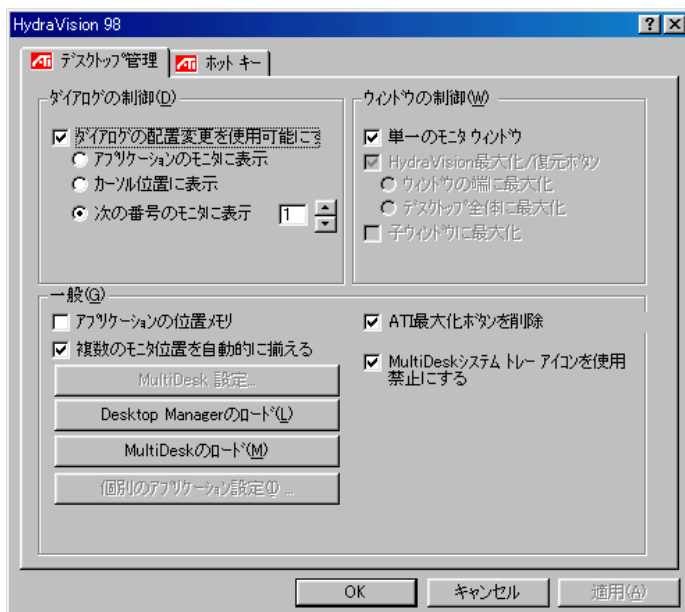
OK: HydraVision™ ダイアログで行った変更を適用し、[Desktop Manager] ダイアログ ボックスを閉じます。再起動を促すメッセージが表示されない限り、変更はすぐに反映されます。

キャンセル: HydraVision™ ダイアログで行ったすべての変更を破棄して、Desktop Manager を閉じます。

適用: Desktop Manager を閉じずに変更を適用します。

ヘルプ: ローカル、またはオンラインの HTML ベースのヘルプに接続します。各コントローラに関連したテキスト上にマウスを移動して、状況依存ヘルプを表示することもできます。

デスクトップ管理コントロール



[デスクトップ管理] ダイアログ

[デスクトップ管理] ダイアログで、マルチモニタ環境のウィンドウとダイアログボックスの動作を設定します。

ダイアログの制御：

ダイアログの配置変更を使用可能にする —ダイアログの制御をオン・オフで切り替えます。このボックスがチェックされていると、親アプリケーションのモニタにダイアログボックスを表示できます(親アプリケーションとはダイアログボックスを生成するアプリケーションです)。親アプリケーション、または関連付けられたモニタが見つからない場合、ダイアログボックスはモニタ1に設定されます。また、カーソルの位置するモニタにダイアログボックスを表示したり、常に特定のモニタに表示させることもできます。

ウィンドウの制御：

単一のモニタ ウィンドウ—このボックスがチェックされていると、ウィンドウは1つのモニタに表示されます。モニタにまたがったウィンドウは、そのウィンドウがより大きく表示されているモニタへ自動的に移動します。

HydraVision™ の [最大化 / 復元] ボタンの制御 —

Windows® の [最大化] ボタンの動作を制御できます。

HydraVision™ が起動されていると、HydraVision™ [最大化 / 復元] ボタンがアプリケーションのタイトルバーの右上に表示されます。このアイコンをクリックすると、次のいずれかの方法でアクティブ ウィンドウを最大化します：

— **ウィンドウの端に最大化** ウィンドウの左上と右下の端が含まれるモニタにウィンドウを最大化します。

— **デスクトップ全体に最大化** すべてのモニタを含む全体にウィンドウを最大化します。

子ウィンドウに最大化 — 親アプリケーションによって生成されたウィンドウをモニタにまたがらないようにします (子ウィンドウとは親アプリケーション ウィンドウ内に表示されるウィンドウです)。最大化されたとき、1つのモニタに子ウィンドウを表示すると、親アプリケーションで並列した複数の文書を編集する場合に大変役立ちます。

☞ *注意:* ウィンドウが HydraVision™ で最大化されると、HydraVision™ アプリケーションのタイトルバーのボタンは、1つの正方形から2つの小さな正方形に変わります。ボタンを再度クリックすると、アクティブウィンドウがデフォルトの状態に復元され、1つの正方形になります。

一般：

アプリケーションの位置メモリ — このボックスをチェックすると、アプリケーション ウィンドウを閉じたときのサイズと位置を「記憶」します。アプリケーションが再起動されると、この設定が適用されます。

複数のモニタ位置を自動的に揃える — Windows®98SE および Windows® Me では、[画面のプロパティ] ダイアログボックスの [設定] からモニタの位置を手動で定義できます。このボックスをチェックすると、モニタが均等に揃っていない場合、ユーザー定義されたモニタの位置は HydraVision™ によって上書きされます。

☞ *注意:* この制御は、すべてのモニタが同じ解像度であり、デスクトップが長方形 (並列したモニタ) に設定されている場合のみ適用されます。

ATI 最大化ボタンを削除 — このボックスは、インストールされたアプリケーションのタイトルバーに表示されるボタンを削除または復元します。

MultiDesk システム トレー アイコンを使用禁止にする — このボックスは、MultiDesk のトレー アイコンを削除、または復元します。

MultiDesk 設定 — このボタンから、MultiDesk プロパティにアクセスできます。アクティブ デスクトップを有効 / 無効にしたり、名前を設定することができます。

Desktop Manager のロード / アンロード — このボタンは、HydraVision™ Desktop Manager トラッキング プログラムを復元、または削除します。Desktop Manager をアンロードすると、ディスプレイ設定が Windows®98SE および Windows®ME のデフォルト設定値に戻ります。マルチモニタ ダイアログ ボックスの制御とウィンドウの制御、またはホット キーを使用したくない場合のみ、このオプションを選択してください。

☞ *注意: MultiDesk は、Windows® が再起動する際にリロードされません。[Desktop Manager] ダイアログ ボックス から Desk Manager をリロードする必要があります。*

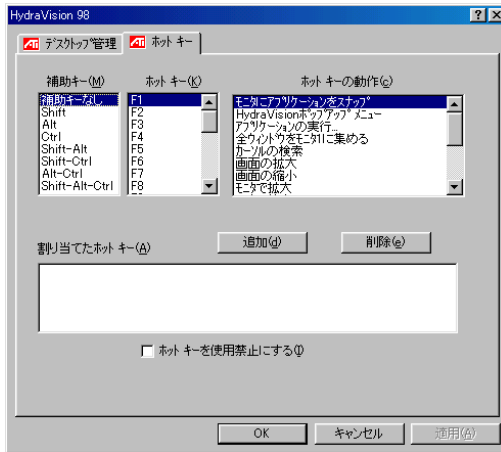
MultiDesk のロード / アンロード — このボタンは、マルチ デスクトップ機能を復元、または削除します。

☞ *注意: MultiDesk は、Windows® が再起動する際にリロードされません。[Desktop Manager] ダイアログ ボックス から MultiDesk をリロードする必要があります。*

個別のアプリケーション設定 — このボタンは、個別のアプリケーションに対してデスクトップ管理の設定を指定、および有効 / 無効にできます。アプリケーションのタイトル バーにある HydraVision™ アイコンの下矢印をクリックするか、[デスクトップ管理] ダイアログの [個別のアプリケーション設定] ボタンをクリックして、これらの設定にアクセスすることができます。

☞ *注意: これらの設定は、[デスクトップ管理] ダイアログで定義されたグローバルな設定を上書きします。*

ホットキーコントロール



[ホットキー] ダイアログ

HydraVision™では、アプリケーションの起動、特定のモニタへのスナップ、ディスプレイ解像度の変更など、一般的な操作にホットキーショートカットを指定することができます。

☞ 注意: ホットキーは、HydraVision™がインストールされ、ロードされてる場合のみ有効です。

ホットキーの作成 / 削除

カスタムホットキーを作成するには、補助キー (Shift、Alt など)、ホットキー、実行するホットキーの機能を選択します。[追加] をクリックして、新しい組み合わせを [割り当てたホットキー] リストボックスに入力します。そして、[適用] をクリックして、割り当てたホットキーを有効にします。

☞ 注意: ファンクションキー (F1、F2 など) をホットキーとして割り当てて補助キーと使用することを推奨します。これは、各アプリケーションでこれらのキーに設定された機能との衝突を避けるためです。

[割り当てたホットキー] リストボックスからホットキーを削除するには、ホットキーをハイライトし、[削除] をクリックしてから、[適用] をクリックします。

また、[ホットキー]ダイアログの下部にある[ホットキーを使用禁止にする]ボックスをチェックして、[割り当てたホットキー]リストボックスにある全ホットキーを無効にすることもできます。

ホットキーの使用

割り当てられたホットキーをあらゆるアプリケーションから使用して画面を変更することができます。

提供されるホットキーの機能を示します：

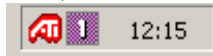
モニタにアプリケーションをスナップ	アクティブウィンドウやダイアログをモニタから別のモニタに移動したり、「スナップ」して素早く配置したり、デスクトップの内容を表示します。
HydraVision™ ポップアップメニュー	HydraVision™ コントロールに素早くアクセスします。
アプリケーションの実行	ホットキーでアプリケーションを起動できます。
全ウィンドウをモニタ1に集める	無効のモニタに隠れていたり、または開いていても見失ったアプリケーションを見つけます。
カーソルの検索	色々と表示されているデスクトップからカーソルを見つけます。
次のデスクトップ	他のアクティブデスクトップにアクセスします。
画面の拡大 / 縮小	デスクトップの解像度を上げたり、落としたりします。
モニタで拡大 / 縮小	アクティブモニタの解像度を上げたり、落としたりします。

MultiDesk

HydraVision™ ソフトウェアは、マルチデスクトップをサポートしています。MultiDesk を使用すると、1 つのアクティブデスクトップが常に表示され、8 つまでのアクティブデスクトップをバックグラウンドに表示できます。MultiDesk が起動している場合、システムトレイの MultiDesk アイコンに現在のデスクトップに割り当てられた数が表示されます。

⚠ 注意: MultiDesk は、HydraVision™ と共にインストールされます。しかし、マルチデスクトップのサポートおよび HydraVision™ は、それぞれ個別にロード/アンロードおよび操作することができます。

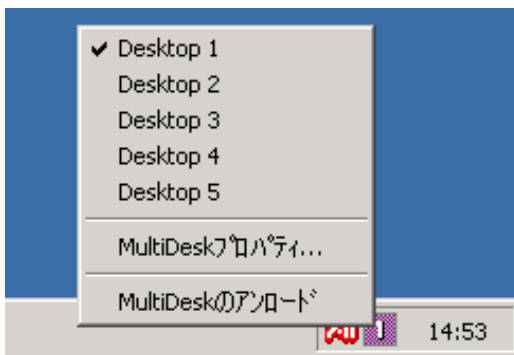
HydraVision™ MultiDesk
アイコン



MultiDesk システム トレー アイコン

このアイコンを右クリックして MultiDesk コントロールにアクセスします。また、ホットキーショートカットでアクティブデスクトップにアクセスすることも可能です。

⚠ 注意: ホットキーは、HydraVision™ がインストールされ、ロードされている場合のみ有効となります



MultiDesk ポップアップメニュー

定義された別のデスクトップに切り替えるには、ポップアップメニューから該当するデスクトップ番号を選択します。アクティブデスクトップを有効/無効にしたり、名前を設定するには、ポップアップメニューから **[MultiDesk プロパティ]** を選択します。アクティブデスクトップ内でアプリケーションを配置したり、特定のアプリケーションを全デスクトップで有効にするには、ポップアップメニューから **[MultiDesk の配置]** を選択します。

[MultiDesk プロパティ] から、デスクトップを制御することができます。**[デスクトップ]** タブを右クリックし、**[アクティブ]**、**[非アクティブ]**、または **[使用禁止]** に設定します。アクティブでないデスクトップは一時的に無効となりますが、アプリケーションを含んでいる場合があります。無効なデスクトップは、アプリケーションを含んでいません。アプリケーションを含んでいる **[アクティブ]** または **[非アクティブ]** なデスクトップが無効な場合、**[アクティブ]** デスクトップに自動的に移動されます。

デスクトップに一意な名前を付けることもできます。該当するデスクトップタブをダブルクリックします。タブが灰色に変わり、点滅するカーソルが表示されます。新しい名前を入力します。デスクトップの名前を変更したら、タブをクリックして変更を保存します。

[全デスクに維持] は、全デスクトップ上で選択したアプリケーションを表示します。

ATI アイコンのポップアップメニューまたは **Desktop Manager の [HydraVision™ MultiDesk のアンロード]** を選択すると、MultiDesk 機能は削除されます。

☞ *注意: MultiDesk は、Windows® が再起動する際にリロードされません。Desktop Manager から MultiDesk をリロードする必要があります。*

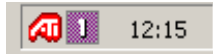
Windows® NT 4.0 および Windows® 2000 に よる HydraVision™ の使用

HydraVision™ ソフトウェアは、Windows® NT 4.0 および Windows® 2000 で使用するように設計されています。

HydraVision™ をインストールすると Desktop Manager が有効になり、HydraVision™ 画面管理ソフトウェアの Windows® プログラムグループが作成されます。

HydraVision™ と Desktop Manager は、Windows® が起動されると有効になります。HydraVision™ のインストールにより ATI アイコンにメニュー オプションが追加されます。

ATI および MultiDesk アイコン



システム トレー アイコン

ATI アイコンをクリックしてアプリケーション機能やヘルプをアクセスしたり、HydraVision™ Desktop Manager をアンロードします。



HydraVision™ Desktop Manager へのアクセス

HydraVision™ Desktop Manager を使って、画面オプションを変更することができます。Desktop Manager の該当するタブをクリックして、[デスクトップ管理] および [ホット キー] ダイアログ ボックスにアクセスします。

各 HydraVision™ ダイアログの下部には次の4つのボタンがあります: [OK]、[キャンセル]、[適用]、[ヘルプ]

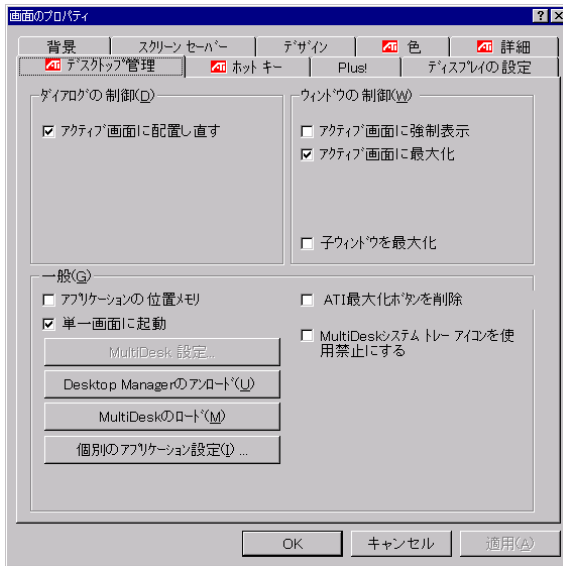
OK: HydraVision™ ダイアログで行った変更を適用し、[Desktop Manager] ダイアログ ボックスを閉じます。再起動を促すメッセージが表示されない限り、変更はすぐに反映されます。

キャンセル: HydraVision™ ダイアログで行ったすべての変更を破棄して、Desktop Manager を閉じます。

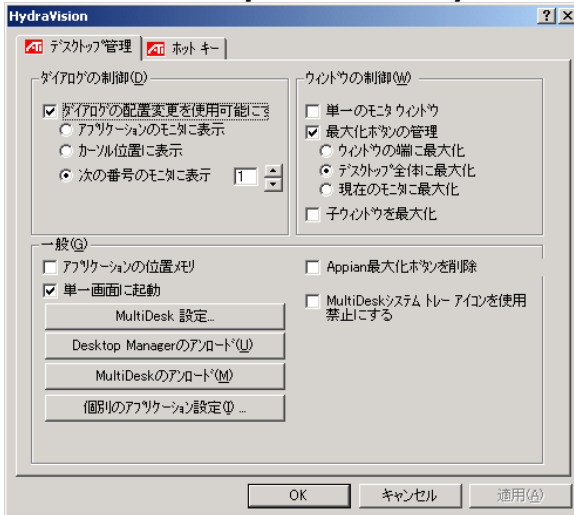
適用: Desktop Manager を閉じずに変更を適用します。

ヘルプ: ローカル、またはオンラインの HTML ベースのヘルプに接続します。各コントローラに関連したテキスト上にマウスを移動して、状況依存ヘルプを表示することもできます。

デスクトップ管理コントロール



Windows NT 4.0 の [デスクトップ管理] ダイアログ



Windows 2000 の [デスクトップ管理] ダイアログ

[デスクトップ管理] ダイアログで、マルチモニタ環境のウィンドウとダイアログボックスの動作を設定します。

ダイアログの制御：

ダイアログの配置変更を使用可能にする —ダイアログの制御をオン・オフで切り替えます。このボックスがチェックされていると、親アプリケーションのモニタにダイアログボックスを表示できます（親アプリケーションとはダイアログボックスを生成するアプリケーションです）。親アプリケーション、または関連付けられたモニタが見つからない場合、ダイアログボックスはモニタ 1 に設定されます。また、カーソルの位置するモニタにダイアログボックスを表示したり、常に特定のモニタに表示させることもできます。

ウィンドウの制御：

単一のモニタ ウィンドウ—このボックスがチェックされていると、ウィンドウは 1 つのモニタに表示されます。モニタにまたがったウィンドウは、そのウィンドウがより大きく表示されているモニタへ自動的に移動します。

最大化ボタンの制御 —Windows® の [最大化] ボタンの動作を制御できます。HydraVision™ が起動されていると、HydraVision™ [最大化 / 復元] ボタンがアプリケーションのタイトルバーの右上に表示されます。このアイコンをクリックすると、次のいずれかの方法でアクティブ ウィンドウを最大化します：

- **ウィンドウの端に最大化** ウィンドウの左上と右下の端が含まれるモニタにウィンドウを最大化します。
- **デスクトップ全体に最大化** すべてのモニタを含む全体にウィンドウを最大化します。
- **現在のモニタに最大化** 現在のモニタにウィンドウを最大化します。

子ウィンドウを最大化 — 親アプリケーションによって生成されたウィンドウをモニタにまたがらないようにします（子ウィンドウとは親アプリケーション ウィンドウ内に表示されるウィンドウです）。最大化されたとき、1つのモニタに子ウィンドウを表示すると、親アプリケーションで並列した複数の文書を編集する場合に大変役立ちます。

☞ *注意*: ウィンドウがHydraVision™ で最大化されると、HydraVision™ アプリケーションのタイトルバーのボタンは、1つの正方形から2つの小さな正方形に変わります。ボタンを再度クリックすると、アクティブウィンドウがデフォルトの状態に復元され、1つの正方形になります。

一般:

アプリケーションの位置メモリ — このボックスをチェックすると、アプリケーション ウィンドウを閉じたときのサイズと位置を「記憶」します。アプリケーションが再起動されると、この設定が適用されます。

単一画面に起動 — このボックスチェックすると、システムが起動したとき、単一画面のみを有効にします。その他に接続されている全てのビデオデバイスは、無効となります。*注意*: 拡張デスクトップは、システムを再起動する前に有効しておく必要があります。

ATI 最大化ボタンを削除 — このボックスは、インストールされたアプリケーションのタイトルバーに表示されるボタンを削除または復元します。

MultiDesk システム トレー アイコンを使用禁止にする — このボックスは、MultiDesk のトレー アイコンを削除、または復元します。

MultiDesk 設定 — このボタンから、MultiDesk プロパティにアクセスできます。アクティブ デスクトップを有効/無効にしたり、名前を設定することができます。

Desktop Manager のロード/アンロード — このボタンは、HydraVision™ Desktop Manager トラッキングプログラムを復元、または削除します。マルチモニタ ダイアログ ボックスの制御とウィンドウの制御、またはホット キーを使用したくない場合のみ、このオプションを選択してください。

☞ *注意*: MultiDesk は、Windows® が再起動する際にリロードされません。[Desktop Manager] ダイアログ ボックス から MultiDisk をリロードする必要があります。

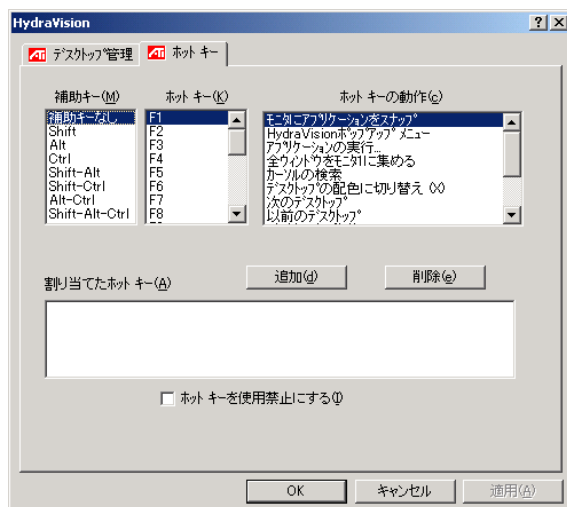
MultiDesk のロード/アンロード — このボタンは、マルチ デスクトップ機能を復元、または削除します。

☞ 注意: MultiDesk は、Windows® が再起動する際にリロードされません。[Desktop Manager] ダイアログボックスから MultiDesk をリロードする必要があります。

個別のアプリケーション設定 — このボタンは、個別のアプリケーションに対してデスクトップ管理の設定を指定、および有効/無効にできます。アプリケーションのタイトルバーにある HydraVision™ アイコンの下矢印をクリックするか、[デスクトップ管理] ダイアログの [個別のアプリケーション設定] ボタンをクリックして、これらの設定にアクセスすることができます。

☞ 注意: これらの設定は、[デスクトップ管理] ダイアログで定義されたグローバルな設定を上書きします。

ホットキーコントロール



[ホットキー] ダイアログ

HydraVision™ では、アプリケーションの起動、特定のモニタへのスナップ、ディスプレイ解像度の変更など、一般的な操作にホットキーショートカットを指定することができます。

☞ 注意: ホットキーは、HydraVision™ がインストールされ、ロードされてる場合のみ有効です。

ホットキーの作成 / 削除

カスタムホットキーを作成するには、補助キー (Shift、Alt など)、ホットキー、実行するホットキーの機能を選択します。[追加] をクリックして、新しい組み合わせを [割り当てたホットキー] リストボックスに入力します。そして、[適用] をクリックして、割り当てたホットキーを有効にします。

☞ 注意: ファンクションキー (F1、F2 など) をホットキーとして割り当てて補助キーと使用することを推奨します。これは、各アプリケーションでこれらのキーに設定された機能との衝突を避けるためです。

[割り当てたホットキー] リストボックスからホットキーを削除するには、ホットキーをハイライトし、[削除] をクリックしてから、[適用] をクリックします。

また、[ホット キー] ダイアログの下部にある[ホット キーを使用禁止にする]ボックスをチェックして、[割り当てたホット キー]リストボックスにある全ホット キーを無効にすることもできます。

ホット キーの使用

割り当てられたホット キーをあらゆるアプリケーションから使用して画面を変更することができます。

提供されるホット キーの機能を示します：

モニタにアプリケーションをスナップ	アクティブ ウィンドウやダイアログをモニタから別のモニタに移動したり、「スナップ」して素早く配置したり、デスクトップの内容を表示します。
HydraVision™ ポップアップメニュー	HydraVision™ コントロールに素早くアクセスします。
アプリケーションの実行	ホット キーでアプリケーションを起動できます。
全ウィンドウをモニタ 1 に集める	無効のモニタに隠れていたり、または開いていても見失ったアプリケーションを見つけます。
カーソルの検索	色々と表示されているデスクトップからカーソルを見つけます。
次のデスクトップ	他のアクティブ デスクトップにアクセスします。
画面の拡大 / 縮小	デスクトップの解像度を上げたり、落としたりします。
モニタで拡大 / 縮小	アクティブ モニタの解像度を上げたり、落としたりします。

MultiDesk

HydraVision™ ソフトウェアは、マルチデスクトップをサポートしています。MultiDesk を使用すると、1つのアクティブデスクトップが常に表示され、8つまでのアクティブデスクトップをバッググラウンドに表示できます。MultiDesk が起動している場合、システムトレイの MultiDesk アイコンに現在のデスクトップに割り当てられた数が表示されます。

⚠ 注意: MultiDesk は、HydraVision™ と共にインストールされます。しかし、マルチデスクトップのサポートおよび HydraVision™ は、それぞれ個別にロード/アンロードおよび操作することができます。

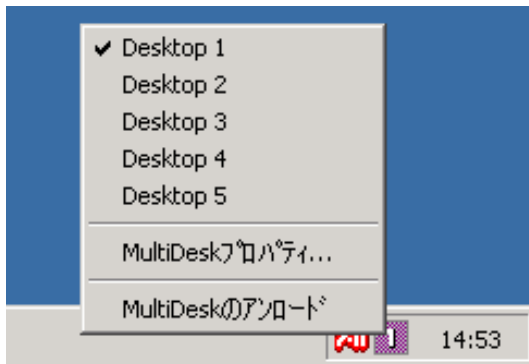
HydraVision™ MultiDesk
アイコン



MultiDesk システムトレイアイコン

このアイコンを右クリックして MultiDesk コントロールにアクセスします。また、ホットキーショートカットでアクティブデスクトップにアクセスすることも可能です。

⚠ 注意: ホットキーは、HydraVision™ がインストールされ、ロードされている場合のみ有効となります。



MultiDesk ポップアップメニュー

定義された別のデスクトップに切り替えるには、ポップアップメニューから該当するデスクトップ番号を選択します。アクティブデスクトップを有効/無効にしたり、名前を設定するには、ポップアップメニューから **[MultiDesk プロパティ]** を選択します。ポップアップメニューの **[HydraVision™ MultiDesk のアンロード]** を選択すると、MultiDesk 機能は削除されます。

[MultiDesk プロパティ] から、デスクトップを制御することができます。**[デスクトップ]** タブを右クリックし、**[アクティブ]**、**[非アクティブ]**、または **[使用禁止]** に設定します。アクティブでないデスクトップは一時的に無効となりますが、アプリケーションを含んでいる場合があります。無効なデスクトップは、アプリケーションを含んでいません。アプリケーションを含んでいる **[アクティブ]** または **[非アクティブ]** なデスクトップが無効な場合、**[アクティブ]** デスクトップに自動的に移動されます。

デスクトップに一意な名前を付けることもできます。該当するデスクトップタブをダブルクリックします。タブが灰色に変わり、カーソルが点滅します。新しい名前を入力します。デスクトップの名前を変更したら、タブをクリックして変更を保存します。

[全デスクに維持] は、全デスクトップ上で選択したアプリケーションを表示します。

Desktop Manager または **[ATI アイコンのアンロード]** を選択すると、MultiDesk 機能は削除されます。

☞ *注意: MultiDesk は、Windows® が再起動する際にリロードされません。Desktop Manager から MultiDesk をリロードする必要があります。*

OpenGL ディスプレイ プロパティ

Open GL プロパティ ページで、Open GL のすべての設定が行えます。



最適化設定

画質優先：画質に関する Open GL 設定を最適化できます。

速度優先：パフォーマンスに関する Open GL 設定を最適化できます。

Open GL 設定

32ビット テクスチャを 16ビット テクスチャに変換する (C): テクスチャを頻繁に使用するゲームのビデオパフォーマンスを向上できますが、イメージ画質を低下させてしまいます。

KTX バッファ領域拡張を有効にする (K): 移動したスクリーン部分の高速アップデートを有効にします。

ページフリッピングを有効にする (E): フルスクリーンバッファをスワップするためにページフリッピングのハードウェアアクセラレーションを有効にします。

16ビット Z バッファ使用 (Z): Z- バッファの他のすべてのフォーマットを無効にし、16ビット Z バッファを使用します。

アルファ ブレンド時にディザを無効にする (D): ディザとアルファブレンドの両方が有効な場合に、スクリーンに残っている虚像を除去します。

垂直同期を待つ (V): フルスクリーンゲームでの、1秒あたりのフレームレートを減少させますが、高フレームレートで起こるイメージの分裂を減少させることができます。

テクスチャ圧縮有効 (X): テクスチャの圧縮を有効、または無効にします。

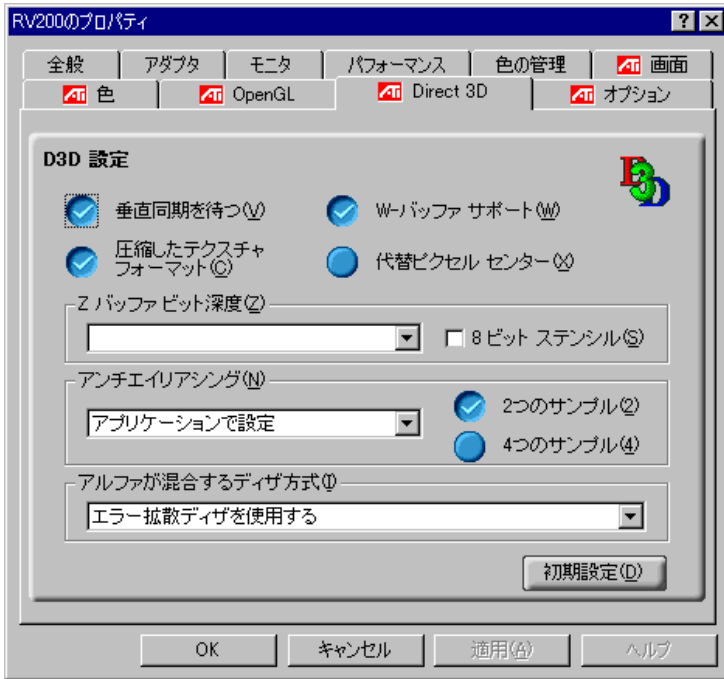
フルシーン アンチエイリアシング (N): フルシーンアンチエイリアシングのレベルを設定できます。パフォーマンスは、少し低下しますが、全体的に高画質イメージになります。

異方性テクスチャ フィルタリング (C): 異方性テクスチャ フィルタリングのレベルを設定できます。ごくわずかのパフォーマンスの低下だけで、テクスチャの画質が大幅に向上します。

描画の詳細レベル (L): ミップマップの詳細レベルを設定できます。[シャープ]設定は、大きく、より詳細なミップマッピングシーンに最適です。[ファジー]設定は、小さく、より荒いミップマッピングシーンに最適です。

Direct 3D ディスプレイ プロパティ

Direct 3D プロパティ ページで、Direct 3D 設定の調節ができます。



D3D 設定

垂直同期を待つ (V) : フルスクリーン ゲームのフレーム レートを減少させますが、高フレーム レートで起こるイメージの分裂を減少させることができます。

W- バッファ サポート (W) : W- バッファ サポートを有効または無効にします。W- バッファ サポートをサポートしないゲームの場合は、この機能を無効にします。

圧縮したテクスチャ フォーマット (C) : Direct X 圧縮のテクスチャ フォーマットのサポートを有効にします。アプリケーションの中には、多くのテクスチャ フォーマットを処理できないものもあります。ビデオドライバの [圧縮したテクスチャ フォーマット] を無効にすると、この機能のサポートを中止します。これにより、サポートするテクスチャ フォーマット数を減少させます。

代替ピクセルセンター (X): 3D ゲームで、テクスチャの周辺に現れる縦線と横線や不正確に表示されるテキストの問題を解消します。しかし、この設定は、他のゲームに影響をもたらす場合があるので、これらの徴候がみられる場合にのみ使用してください。

Z バッファ ビット深度 (Z): Z バッファ ビットのレートを設定できます。初期設定初期設定値では、16:24 (16 と 24) が、最適なパフォーマンスのために選択されています。

8 ビット ステンシル (S): 8 ビット ステンシルを含む 32 ビット Z バッファおよび 24 ビット Z バッファを追加できます。

アンチエイリアシング (N): パフォーマンスを少し低下させますが、全体的に高画質のビデオ イメージを提供します。[アプリケーションで設定] モードが選択されていると、アプリケーションが要求した場合のみ、ビデオドライバはアンチエイリアシングを使用します。[常にオン] モードが選択されていると、ビデオドライバは、アンチエイリアシングをすべてのアプリケーションで使用します。

2 つのサンプル (2): パフォーマンスを少し低下させますが、全体の画質を向上させる高サンプル比率を提供します。より多くのビデオメモリが必要になります。

4 つのサンプル (4): パフォーマンスを少し低下させますが、全体の画質を向上させる高サンプル比率を提供します。より多くのビデオメモリが必要になります。

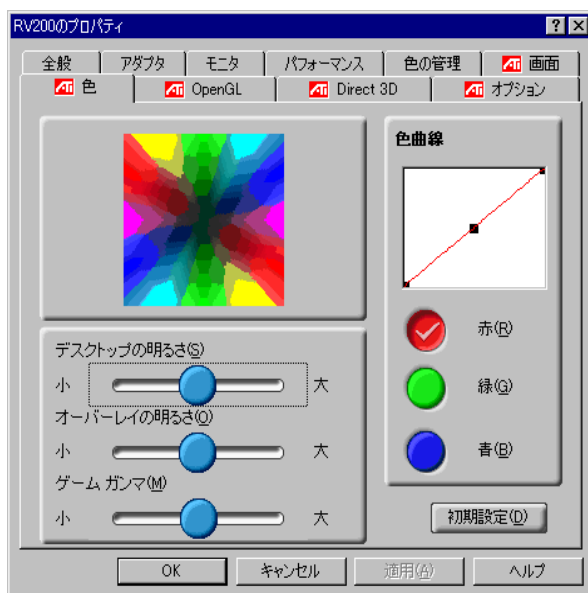
アルファが混合するディザ方式 (I): ディザとアルファブレンドの両方が有効な場合に、スクリーンにある虚像を除去します。

初期設定 (D): Direct 3D 設定を初期設定値に戻します。

色プロパティ

色プロパティ：色の設定を調整できます。また、ビデオオーバーレイのビデオ再正のガンマコントロールもできます。色の設定は、表示にマップされているすべてのディスプレイ デバイスに影響します。

ディスプレイの色は、赤、緑、青に変更できます。[デスクトップの明るさ]と[オーバーレイの明るさ(ガンマ)]のレベルも変更できます。



デスクトップの明るさ：デスクトップの色の明るさを増減します。ガンマ レベルが高いほど、ディスプレイの明るさとコントラストが増します。

オーバーレイの明るさ：ビデオ オーバーレイの明るさを増減します。ガンマ レベルが高いほど、ディスプレイの明るさとコントラストが増します。

ゲーム ガンマ：フルスクリーン モードで実行されている Direct 3D または OpenGL ゲームの明るさを増減します。

色曲線：マウスで色曲線を移動し、選択した色（赤、緑、または青）を調整します。

初期設定：色の設定を初期設定値に戻します。

TV Out の使い方

コンピュータの画面をテレビで表示！

RADEON 8500/RADEON 7500 - ベースの VE カードには TV Out 機能が用意されています。カードを、テレビおよびモニタに接続して機能を利用できます。または、カードをビデオに接続して、モニタの画面を録画することもできます。

テレビ表示はゲームを楽しんだり、プレゼンテーションを行ったり、映画を鑑賞したり、インターネットをブラウズするのに最適です。以下のヒントを参考にして、TV Out 機能を最大限にご活用ください。

ヨーロッパでご使用になる際の 注意事項

ヨーロッパのコンピュータ モニタには、テレビ表示と同時に使用できないものがあります。ヨーロッパでテレビ表示を有効にすると、モニタとテレビのリフレッシュ レートは 50Hz に設定されます。モニタがこのリフレッシュ レートをサポートしていない場合、モニタに損傷が出る場合があります。

- モニタの説明書をお読みになり、お使いになっているモニタが 50Hz のリフレッシュ レートをサポートしているかどうかご確認ください。

モニタが 50Hz のリフレッシュ レートをサポートしていない場合（またはわからない場合）、テレビをディスプレイとして使用するときは、コンピュータの電源を入れる前に、モニタの電源を切ってください。

テレビ表示を無効にする方法については、[テレビ表示を有効/無効にする](#) (41 ページ) を参照してください。

ヨーロッパのテレビには SCART 接続を使用しているものがあります。SCART を使用している場合は、RADEON™ をテレビに接続する前に、[ヨーロッパテレビ用 SCART コネクタを使用する](#) (40 ページ) を参照してください。



RADEON 8500/RADEON 7500 とテレビまたはビデオの接続

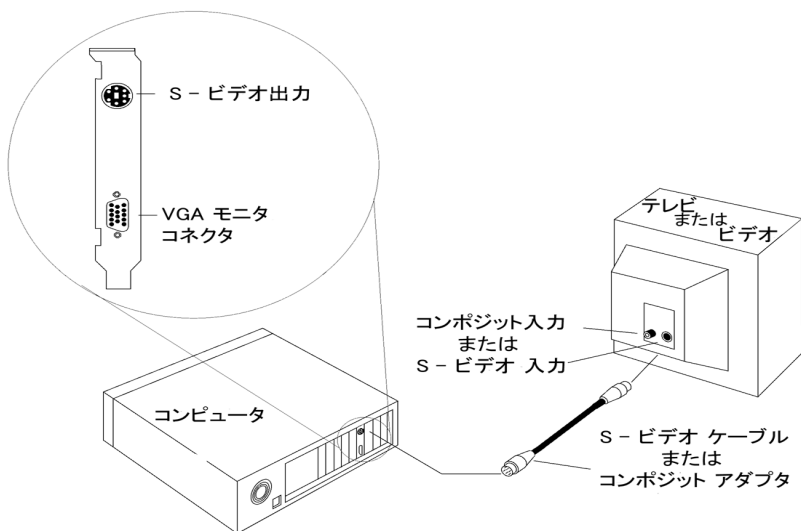
グラフィックカードとテレビまたはビデオを接続するには、テレビ(またはビデオ)と RADEON 8500/RADEON 7500 を S-ビデオケーブルで接続します。しかし、ほとんどのテレビ(およびビデオ)には、コンポジットビデオ入力を用意されているため、付属の S-ビデオをコンポジットビデオアダプタに使用できます。ケーブル入力しかない古いテレビを使用する場合でも、ビデオまたは RF 変調器(ほとんどの電化製品店で入手できます)を使用して RADEON 8500/RADEON 7500 とテレビを接続できます。

RADEON 8500/RADEON 7500 TV Out とテレビまたはビデオを接続する

- 1 コンピュータとテレビ(またはビデオ)の電源を切ります。
- 2 グラフィックカードが正しくインストールされていることを確認します。

コンピュータへのカードの設置方法と拡張ATIドライバのインストール方法に関する情報は、「RADEON 8500/RADEON 7500 - はじめに」ガイドを参照してください。

- 3 テレビ(またはビデオ)で S-ビデオまたはコンポジットビデオ接続のどちらを利用するか決定します。
- 4 コンピュータの背面を見て RADEON 8500/RADEON 7500 カードの位置を確認します。S-ビデオケーブルまたは付属のアダプタケーブルを使用して、ケーブルの一端をグラフィックカードに、もう一端をテレビ(またはビデオ)に接続します。(以下のページの「ATI RADEON 8500/RADEON 7500 にテレビ(またはビデオ)を接続」を参照してください。)



ATI RADEON 8500/RADEON 7500 にテレビ (またはビデオ) を接続

- 5 コンピュータとテレビ (またはビデオ) の電源を入れます。
- 6 テレビ表示のオン/オフを切り替えるには、**テレビ表示を有効/無効にする** (41 ページ) を参照してください。

ヨーロッパテレビ用 SCART コネクタを使用する

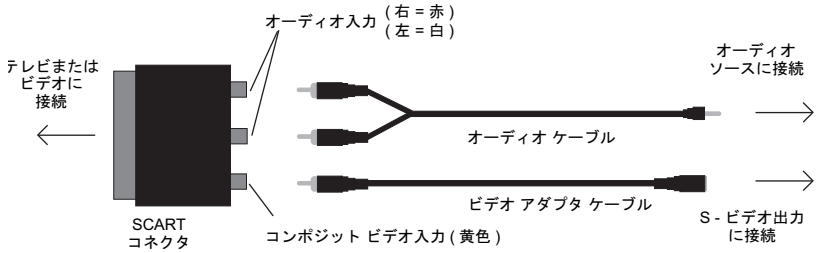


図 2. SCART コネクタとビデオアダプタケーブルの接続方法

SCART コネクタは、コンポジットビデオ形式のみをサポートしているため、ビデオアダプタケーブルを使用しなければなりません。前の図は、SCART コネクタを使用した RADEON 8500/RADEON 7500 とヨーロッパのテレビの接続方法を示しています。

ご使用になっているヨーロッパのテレビが S-ビデオ (S-VHS) 入力をサポートしている場合は、S-ビデオケーブル (ほとんどの電化製品店で購入できます) を使用できます。

TV Out の使用と調整

テレビ表示を有効 / 無効にする

- 1 [スタート] をクリックします。
- 2 [設定] をポイントし、[コントロール パネル] をクリックします。
- 3 [画面] をダブルクリックします。
- 4 [設定] タブをクリックしてから [詳細 ...] ボタンをクリックします。
- 5 [ATI 画面] タブをクリックします。
- 6 “テレビ” の横にある緑の [有効 / 無効] ボタンをクリックして、テレビ ディスプレイのオン / オフを切り替えます。
テレビに何も表示されない場合、ビデオ ディスプレイ モードに切り替える必要があります。詳細は、テレビの説明書を参照してください。テレビがビデオに接続されている場合、テレビをビデオ出力に合わせる必要があります。テレビとビデオの接続方法に関しては、ビデオの説明書を参照してください。
- 7 [適用] をクリックして変更を保存します。

テレビ表示と [ATI 画面のプロパティ] ページの使い方を見るには、[ヘルプ] ボタンをクリックしてください。

重要

2 つのアナログ モニタが RADEON 8500/RADEON 7500 に接続している場合、テレビの電源が切られ、ソフトウェアで無効な場合でも、テレビをグラフィックス カードに接続したままにすることはできません。DVI-I コネクタに接続しているアナログ モニタは、TV out が有効な場合でも、RADEON 8500/RADEON 7500 に接続したままにすることはできません。どちらの場合も、RADEON 8500/RADEON 7500 がオーバーロードされ、**全ての**デバイスでぼやけた画像が表示されます。

テレビ表示を有効にして Windows[®] を起動する

テレビ画面は、Windows[®] ロゴが表示されている間、表示が乱れます。これは一時的に発生する現象で、テレビ画面は数秒たつと正常に表示されるようになります。

起動時に、RADEON 8500/RADEON 7500 は、テレビ表示のモード設定を順番に行います。処理には数秒かかりますが、この処理により、テレビ表示が正しく設定されます。

モニタ vs テレビ表示

テレビをコンピュータのディスプレイとして使用するのには、ゲームを楽しんだり、プレゼンテーションを行ったり、映画を鑑賞したり、インターネットをブラウズするのに最適です。しかし、この場合、モニタの表示が変化したり、つぶれたりします。これは、表示をテレビのサイズに合うように調整しているためです。モニタの表示を正常にするには、モニタのコントロール ボタンを使用して、サイズや位置の設定を行ってください。

固定周波数のモニタは、テレビ表示を有効にすると動作しなくなる場合があります。テレビ表示を有効にすると問題が発生する場合は、テレビ表示を無効にするようにしてください。

モニタ表示を調整する

テレビ表示が有効になっていると、モニタの表示サイズが小さくなったり、中心がずれたりする場合があります。これらの現象は、テレビ表示が正しくなるよう必要な変更を行った場合に発生します。

モニタの表示のみを調整するには、[画面のプロパティ] ページ ([ATI 画面] タブの [モニタ] ボタンをクリックして表示できます) の [調整] タブで利用可能なコントロールを使用します。テレビ表示のみを調整するには、[テレビ] ボタンをクリックします。

テキストをテレビで表示する

テレビは、静止画像よりも動画画像を表示するように作られています。(動画ビデオでは問題のない) テレビの大きなドットピッチは、テキストのような質の悪い静止画像を引き起こします。

コンピュータのデスクトップで通常使用される小さいテキストのサイズは、テレビではぼやけたり不鮮明に表示されます。この問題は、表示フォントを大きくすることで解決できます。

表示フォントを大きくするには

- 1 [スタート]をクリックします。
- 2 [設定]をポイントし、[コントロール パネル]をクリックします。
- 3 [画面]をダブルクリックします。
- 4 [設定]タブをクリックしてから[詳細...] ボタンをクリックします。
- 5 [全般]タブを選択します。
- 6 [フォント サイズ]ボックスで、新しいフォント サイズを選択します。
- 7 [適用]をクリックしてから、画面の指示に従って新しい変更を保存します。

歪みを減らす

テレビをコンピュータのディスプレイとして使用していると、テレビのスクリーンの左端および右端に歪みが生じる場合があります。この現象は、テレビと実行しているアプリケーションの組み合わせによって発生します。

歪みを減らすには、テレビディスプレイの水平サイズを大きくします。

水平サイズを大きくするには

- 1 [スタート]をクリックします。
- 2 [設定]をポイントし、[コントロール パネル]をクリックします。
- 3 [画面]をダブルクリックします。
- 4 [設定]タブをクリックしてから[詳細...] ボタンをクリックします。
- 5 [ATI 画面]タブをクリックします。
- 6 [テレビ] ボタンをクリックします。
- 7 [調整]タブをクリックします。
- 8 水平画面のプラス(+) ボタンをクリックしてテレビ表示の水平サイズを大きくします。
- 9 [適用]をクリックして変更を保存します。

歪みは、テレビの明るさを変更して減らすこともできます。

明るさを変更するには

- 1 [スタート] をクリックします。
- 2 [設定] をポイントし、[コントロール パネル] をクリックします。
- 3 [画面] をダブルクリックします。
- 4 [設定] タブをクリックしてから [詳細...] ボタンをクリックします。
- 5 [ATI 画面] タブをクリックします。
- 6 [テレビ] ボタンをクリックします。
- 7 [明るさ] スライダーを左にドラッグして画面を暗くします。
- 8 [適用] をクリックして変更を保存します。

ディスプレイ設定を変更する

コンピュータをテレビ表示のみが可能な場所へ移動した場合は、テレビ表示機能が有効になっていることを確認してください。テレビ表示を有効にするには、[テレビ表示を有効/無効にする](#) (41 ページ) を参照してください。

最大 1024 x 768 までディスプレイの解像度を設定することができます。高い解像度に設定すると、バーチャルデスクトップを引き起こします。表示デバイスがテレビのみで高いモードを選択した場合、テレビに何も表示されなくなります。

ゲームとアプリケーションを使用する

古いゲームやアプリケーションには、特定のディスプレイモードで実行するために RADEON 8500/RADEON 7500 カードを直接制御しているものがあります。この場合、画面が自動的に表示されなくなったり、おかしく表示されてしまうことがあります (モニタには影響ありません)。ゲームを終了するか、システムを再起動すると、テレビ表示は元の状態に戻ります。